リクルートにおけるデータ活用

第4回 日銀FinTechフォーラム 2017年11月1日

株式会社リクルートホールディングス メディア&ソリューションSBU FinTech推進室 室長 小川 安英



リクルートのご紹介

様々な領域でマッチングメディアを展開



🗙 旅行













リクルートのデータ活用 ~3つのステップ~

1. 共通IDの導入によるデータ統合 – リクルートID

2. 消費者接点におけるデータ活用

3. 事業者接点におけるデータ活用

リクルートのデータ活用 ~3つのステップ~

1. 共通IDの導入によるデータ統合 – リクルートID

2. 消費者接点におけるデータ活用

3. 事業者接点におけるデータ活用

グループ共通会員基盤『リクルートID』の導入

ほぼ全てのサービスのリクルートID化を完了



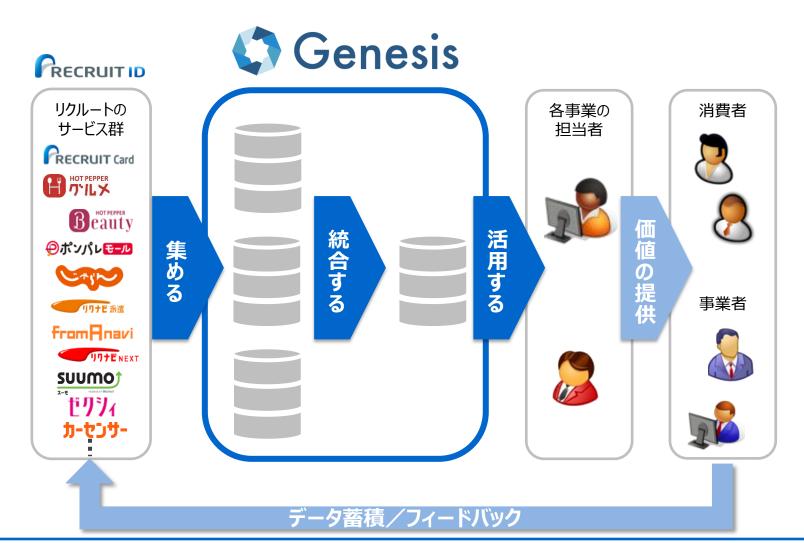
41サービス に導入済





カスタマーデータ基盤『Genesis』の開発

複数サービスのデータを横串で集め、統合し、活用するためのデータ基盤



リクルートのデータ活用 ~3つのステップ~

1. 共通IDの導入によるデータ統合 – リクルートID

2. 消費者接点におけるデータ活用

3. 事業者接点におけるデータ活用

データ活用は、何のためにやるのか?

データの収集・活用自体は目的ではない それを通じて、売上アップやコストダウンに貢献し、企業価値を高めていく

企業価値の向上



売上アップ・コストダウン

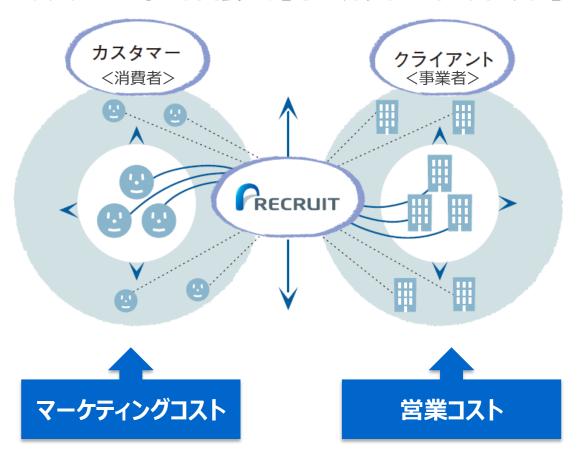


データ収集・データ活用



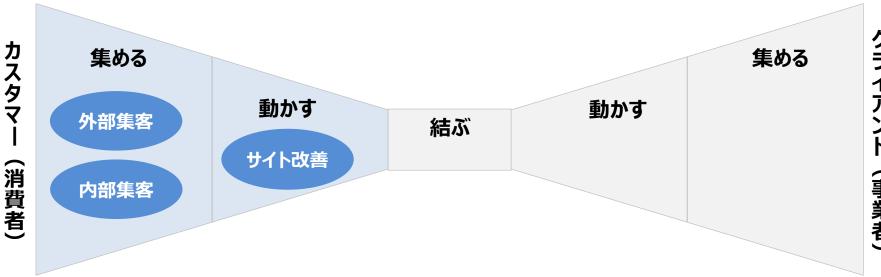
リクルートの事業モデル

「まだ、ここにない、出会い。」を実現する『リボン図モデル』



大きなアセットを持たないビジネスモデルのため、 カスタマー集客のための広宣費とクライアント営業のための人件費が大きい

消費者側でのデータ活用によりマーケティング効率が向上



| サービス | 活用分野 | 事例 |
|----------------------------|---------------|---|
| ス ワディサプリ ENGLISH | 外部集客 (広告) | 「スタディサプリENGLISH」は「リクナビNEXT」と併用する消費者が多いことを特定。リクナビNEXTユーザかつ利用率の高い性別・年齢に絞ったオンライン広告を実施したことで、申込率が改善した。 |
| カーセンサー | 内部集客 (メール) | データから推定された顧客属性に基づき、例えば「子どもがいる可能性 の高い消費者にはファミリーカー」など、対象の属性に応じてバナーの中 身を出し分けることで、バナーのクリック率が改善した。 |
| 록 1年1=51 1< | サイト改善 (UX) | ログインしていないサイト訪問者をクッキーを用いた分析で属性判定し、 カスタマーの属性に応じてサイト表示の表示順位をパーソナライズする 仕組みを実装した結果、サイト上での申込率が改善した。 |

リクルートのデータ活用 ~3つのステップ~

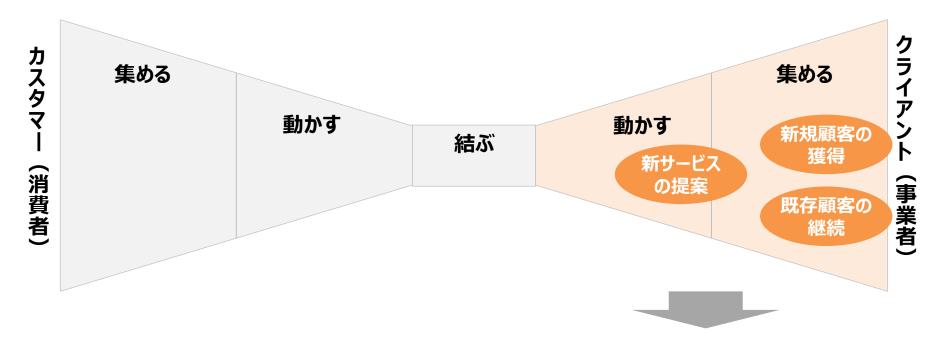
1. 共通IDの導入によるデータ統合 – リクルートID

2. 消費者接点におけるデータ活用

3. 事業者接点におけるデータ活用

営業接点を生かした事業者への価値提供へ

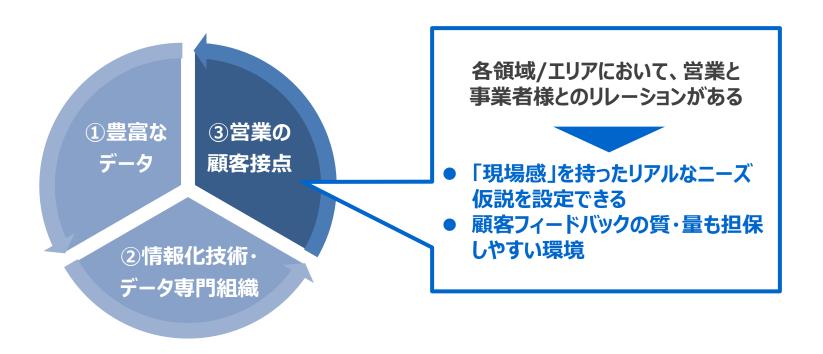
事業者の業務支援や新サービス開発への活用を推進



- ✓ 営業活動の生産性向上
- ✓ 業務支援による継続率向上
- ✓ ファクトに基づく提案によるアップセル
- ✓ 新サービス開発 ...etc.

データ活用観点でみたリクルートの強みとは?

豊富なデータと、それを活用するための技術・組織に加え、営業組織を通じて全国の事業者との顧客接点を保有



顧客に寄り添うことで、リアルな「不」を発見し、 技術力で解決し、高速PDCAでサービスの磨き込みを行う

【事例】Airレジ注文データ分析・活用による飲食店の経営支援

これまで定量的な分析が難しかった居酒屋のオペレーションに対し、 Airレジデータを活用した業務支援を行った事例







O円でカンタンに使えるPOSレジアプリ

ホットペッパーの営業担当が、「お客様の売上低迷をなんとかしたい!」 と思い、社内のデータ分析チームに相談。 →データサイエンスチームと営業による取組みがスタート

①仮説の設定

「客単価」と「満足度」の両方に効く打ち手として「おすすめ接客の最適化」をテーマ設定

居酒屋でおすすめ(アップセル)が成功するメニューとは?

人気メニューの もつ鍋やだし巻き卵は、 最初に注文されてい る・・・

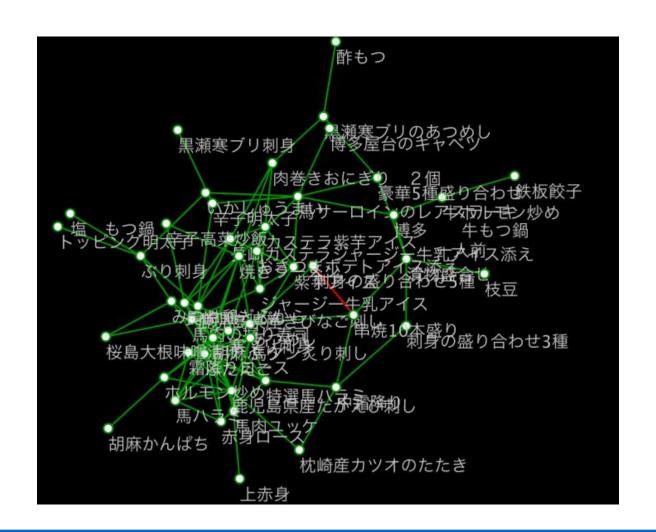
唐揚げのあとに チキン南蛮を勧めても、 注文されない・・・

酢モツを勧めても、客単価があがらない・・・

「メニューの相性スコア」と「客単価スコア」のかけあわせで「ベストなおすすめ」が特定できるはず

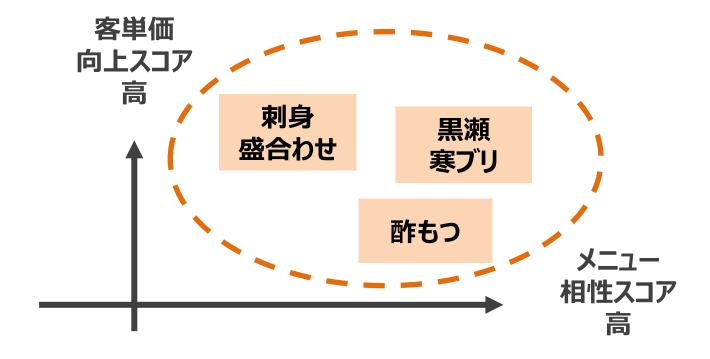
②データ分析

(例) どのメニューとどのメニューが同時に、どの程度頼まれやすいのかを定量化



③データ分析完了

遂に「真のおすすめメニュー」が完成!



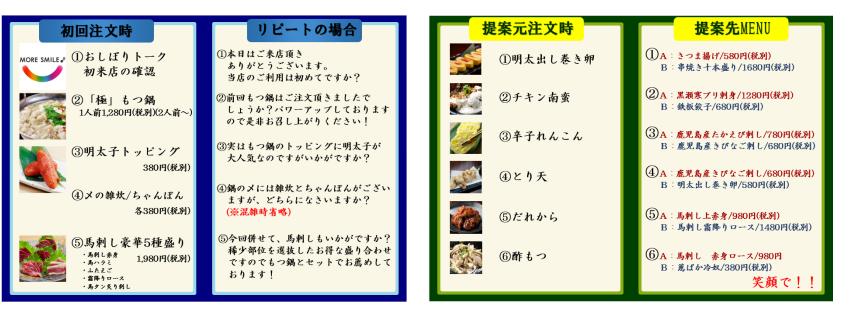
しかし、データ分析の完了は出発点に過ぎない ここから、「実践で使える」ための高速PDCAが始まる

④お客様の現場への導入と改善

おすすめの組み合わせをお伝えしたところ、現場から様々な課題が・・・

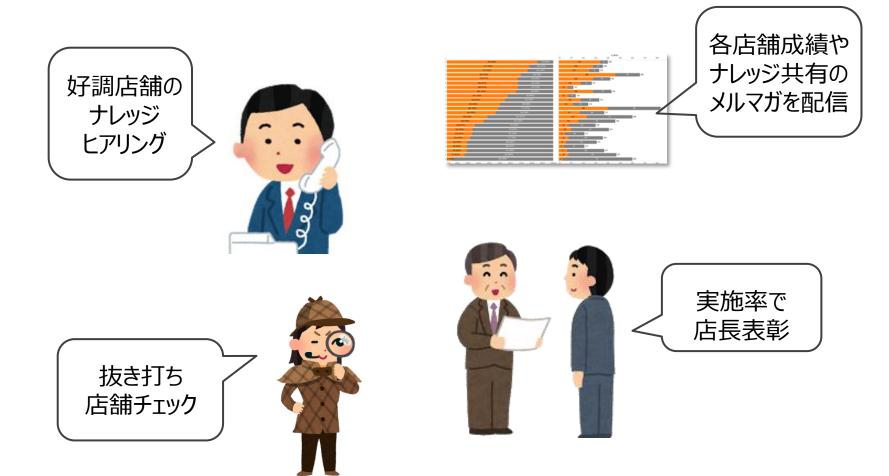


「おすすめブック」を作成し、改善を重ねて「誰でもすぐ使えるツール」に磨き込んだ



⑤モニタリングと推進

さらに、全店舗に「おすすめ文化」を根付かせるため、粘り強くアクションを重ねた



結果は・・・

- ✓ 「おすすめ実施」グループの客単価は+10%の改善
- ✓ 全店でのおすすめ実施率は3.6%→37.4%に大幅アップ

・・・ただし、この事例において、「データ分析」はあくまで一部分に過ぎない。

現場に徹底的に向き合ったことで、 データをキッカケに、『お客様の行動変革』に繋がり、 生産性の向上、売上の向上に貢献することができた

データ分析×顧客接点での課題解決



「顧客に価値を提供する」を共通の目的に、 "データの分析"と"顧客接点での実践"を協働して繰り返すプロセス

『リクルートだからこそ解決できる顧客課題』に向き合い 『まだ、ここにない、出会い。』を創出していく

まだ、ここにない、出会い。

